

愛媛の食に関する県民意識調査について

1. 調査目的

これまで愛媛県が誇る多様なかんきつを含む県産食材のブランド価値と本県の「食」のイメージを向上させるため、飲食関係団体等と連携した県産食材の魅力発信を強化するイベント等を実施してきたが、県内においてどの程度認知されているか、また、えひめの食の浸透度合いをインターネットによるアンケートでサンプル調査を実施し、現状を分析することで今後の戦略づくりの参考とする。

2. 調査方法等

- ・調査期間：令和8年1月14日（水）～1月27日（火）
- ・実施場所：Web上（愛媛県政課題調査）インターネットを利用したアンケート調査
- ・対象者：県内に居住する18歳～79歳の男女400人

居住地域	女性					女性集計	男性					男性集計	総計
	18～29歳	30代	40代	50代	60代以上		18～29歳	30代	40代	50代	60代以上		
松山地区	14	14	19	17	36	100	14	13	18	15	31	91	191
西条・新居浜・宇摩	5	6	8	8	19	46	6	7	9	8	16	46	92
今治	3	3	4	4	11	25	3	3	4	4	9	23	48
宇和島	1	2	3	3	7	16	1	2	3	3	7	16	32
八幡浜・大洲	2	2	3	3	8	18	2	2	3	3	9	19	37
総計	25	27	37	35	81	205	26	27	37	33	72	195	400

3. 調査結果

〈イベントについて〉

- ・認知度・満足度

えひめ・まつやま産業まつり：62.8%（うち、**80.2%が満足**）

えひめ愛ある食フート・ストリートマーケットの市：31.6%（うち、**95.7%が満足**）

⇒食の市は、3年前に初開催ということもあり、産業まつり（14年目）と比べ、認知度は低い。一方、双方とも満足度は高く、「食」というコンテンツの人気の高さがうかがえ、今後も「食」をテーマとしたイベントの需要は高まると推察。売上額向上・販路拡大のチャンス

〈食について〉

- ・県外の友人等へおすすめしたい愛媛の料理（食べ物）

かんきつ（75.8%）が一番高く、次いでじゃこ天・じゃこかつ（69.8%）、鯛めしと続く。

- ・鯛めしの認知度

昔から根付く、宇和島鯛めし、松山（北条）鯛めしは**8割を超え**、

東予・洋風焼き鯛めしは24.0%と今後も継続的なPRが必要。

〈紅コレクションについて〉

- ・各認知度として、**紅まどんな（96.8%）、紅かんぺい（71.5%）、紅プリンセス（40.3%）**

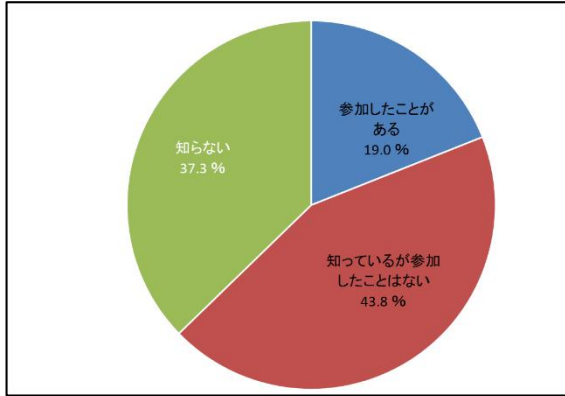
- ・紅コレクションの名称としては、**22.0%**と単体と比較した際には、低い傾向にある。

⇒県外でのプロモーションに注力している影響と思われる。

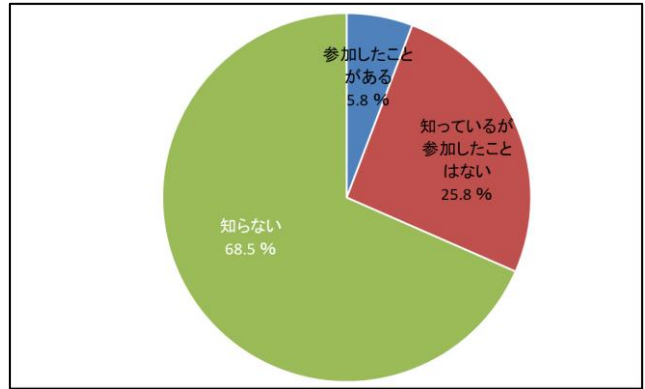
〈グラフ〉

イベントに関して (認知度)

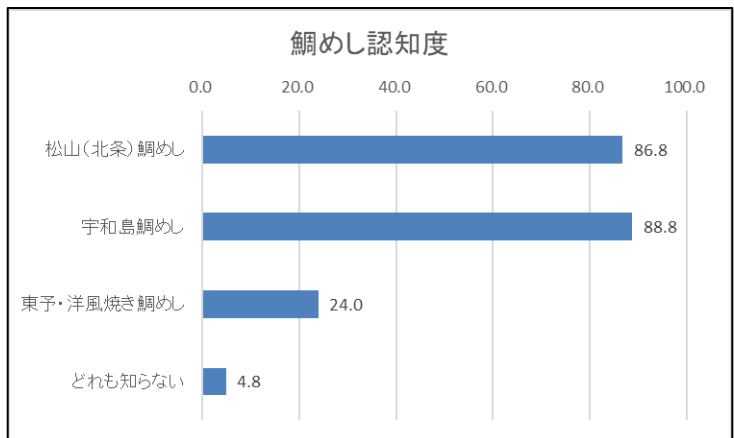
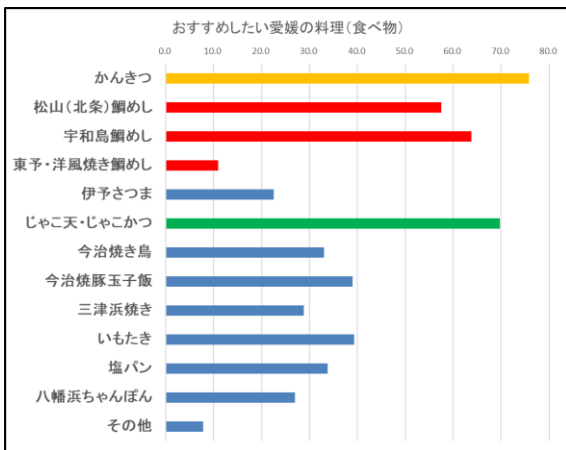
えひめ・まつやま産業まつり



えひめ愛ある食の市

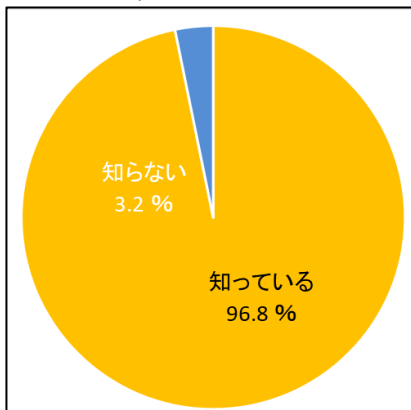


食について

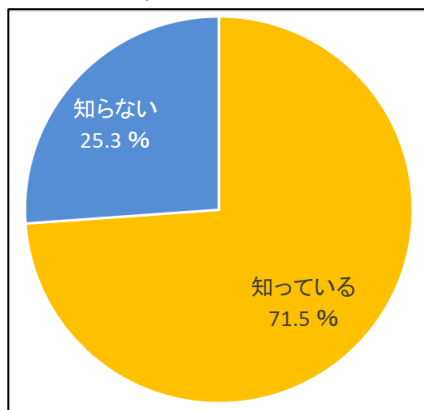


紅コレクションについて (認知度)

紅まどんな



紅かんぺい



紅プリンセス

